

知の循環型社会について（三輪建二）

★ 中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」（2008.2）



- ① 個人の自己実現から、社会全体の教育力の向上につながる生涯学習へ
学んだ成果の地域社会への活用と学校・家庭・地域の連携による教育例）P T A、学校支援本部、学校運営協議会、地教推
- ② 大人（地域の人びと）にとっての知の循環
生涯学習で学ぶ→学校で子どもに伝える→新しい学習ニーズ→生涯学習
- ③ 子どもにとっての生涯学習と知の循環
学校の先生や親以外の人（地域の人びと、おじいちゃん・おばあちゃん）から学ぶ
文化・伝統について学ぶ
生き方・考え方の選択肢を増やす（学び方を学ぶ）
杉並の地で大人になり、今度は（生涯学習等で）学んだ成果を地域の次世代に生かす
- ④ 専門家依存社会から共生社会へ
教員（学校）、医師・看護師（病院）、職員（行政）を専門家として依存、クレーマー
→責任を共有しながら子育て応援のできるまちづくり

参考文献）三輪建二『生涯学習の理論と実践』放送大学教育振興会、2010年